

医政地発 0210 第 1 号
健生が 発 0210 第 1 号
健生難 発 0210 第 1 号
基安労 発 0210 第 1 号
職首 発 0210 第 1 号
職保 発 0210 第 1 号
雇均職 発 0210 第 1 号
社援保 発 0210 第 1 号
社援地 発 0210 第 1 号
障 企 発 0210 第 1 号
障 障 発 0210 第 1 号
保 保 発 0210 第 1 号
保 医 発 0210 第 1 号
年管管 発 0210 第 1 号
開 訓 発 0210 第 1 号
開 若 発 0210 第 1 号

令和 8 年 2 月 10 日

都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医政局地域医療計画課長
厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課長
厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課長
厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長
厚生労働省職業安定局首席職業指導官
厚生労働省職業安定局雇用保険課長
厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課長
厚生労働省社会・援護局保護課長
厚生労働省社会・援護局地域福祉課長
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課長
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長
厚生労働省保険局保険課長
厚生労働省保険局医療課長

厚生労働省年金局事業管理課長
厚生労働省人材開発統括官付訓練企画室長
厚生労働省参事官（若年者・キャリア形成支援担当）
（公 印 省 略）

A Y A世代のがん患者向けパンフレットの周知・活用について

我が国のがん対策については、がん対策基本法（平成 18 年法律第 98 号）及び同法の規定に基づく「がん対策推進基本計画」（以下「基本計画」という。）により、総合的かつ計画的に推進しているところです。

令和 5 年 3 月に策定された第 4 期基本計画において、A Y A世代のがん患者の療養環境については、現状・課題として「利用できる支援制度に限りがある等の理由から、在宅で療養することを希望しても、患者やその家族等の身体的・精神的・経済的な負担が大きい」ことが挙げられており、これに対応する取り組むべき施策として「国は、小児・A Y A世代のがん患者の療養環境の課題等について実態把握を行い、診断時からの緩和ケア提供体制や在宅療養環境等の体制整備について、関係省庁と連携して検討する」こととされています。

今般、厚生労働科学研究費補助金において採択された「小児・A Y A世代のがん経験者の健康アウトカムの改善および根治困難ながんと診断されたA Y A世代の患者・家族の生活の質の向上に資する研究」における実態調査において、A Y A世代のがん患者は、経済的負担が大きく、療養にあたっての手当が必要である、などの結果が出たことを受けて、現行の支援制度の活用を推進するため、A Y A世代のがん患者が、自身の活用できる制度を知り、適切な制度やサービスに繋がるための契機となる資材として、関連する制度をまとめたパンフレット「15 歳～30 歳代でがんと診断されたあなたへ がんの治療と暮らしを支える制度ガイド」（以下、「パンフレット」という。）を作成しました。

本パンフレットは、がん相談支援センターにおけるがん専門相談員からの説明をはじめ、医療従事者（医師・看護師等）による配布、医療機関内の情報コーナーへの配架、自治体における活用等を想定しています。

つきましては、貴職におかれては、貴管内の医療機関に対しパンフレットの周知を行うとともに、積極的な活用が図られるように御配慮くださいますよう、お願い申し上げます。